

～富士見生の今を伝える～

# コミュニティ通信 Neo



静岡県富士見高等学校  
コミュニティ研究会



▲特進3年生希望者との交流会を終えて全体での記念撮影（5月9日）

# 台湾高校生団が来校

高雄 中山工商

ホームステイなど交流

5月8日から10日にかけての3日間、台湾の高雄市にある中山工商高級職業学校13名の生徒が本校を訪れ、ホームステイなどを通して交流を深めました。

## 自由な雰囲気での台湾生徒

中山工商は全校生徒9000人の大規模校だそうです。今回来日した13名は応用日本語学科の生徒が多く、中には以前に日本に住んでいたの流ちょうな日本語を喋る生徒もいました。金髪に染めているなど自由な雰囲気の中で、昨年よりオンライン交流をして分かっていたので、富士見生はカルチャーショックを受けることなく交流できました。

「富士見生と中山工商の生徒との交流は昨年9月26日からオンラインによる計3回の交流を深めてきました。当時の特進コース2年生（現3年生）62名と、中山工商2年生と3年生計72名が5つのグループを作って英語や日本語で自己紹介しました。このプロジェクトのリーダー稲木萌華さん（現3年生）は「台湾の生徒は日本の漫画やアニメが好きで、ニメがすごく好きでした」と昨年から交流を振り返り、その生徒たちと対面で交流できたことが嬉しかったと語ってくれました。稲木さんは5月9日のセミナーで中国語を振る、



中山工商の旅団を熱烈歓迎お出迎え（5月8日）

## 一緒に授業参加

台湾生徒たちは富士山世界遺産センターや市内の製紙会社などを見学し、9日の午後からホストの生徒と校内見学して2時間の授業を受けました。放課後には交流会、部活動見学を行いました。

ホームステイで山村サラさん（3年生）に受け入れられた劉佳好さん（19歳）は、「富士見の生徒たちはみんな優しく、心を込めて接してくれました。参加した日本史の授業では昔のお金を見せてもらって感激しました」と語りました。

## 編集後記

最初は英語が通じやすい誕生日や好きな食べ物や台湾生徒に聞いてしまったので、取材に慣れず苦勞しましたが、最後まで頑張りました。（3年 若月優美）

## 昨年10月よりオンライン交流

昨年10月よりオンライン交流を始めてきました。当時の特進コース2年生（現3年生）62名と、中山工商2年生と3年生計72名が5つのグループを作って英語や日本語で自己紹介しました。このプロジェクトのリーダー稲木萌華さん（現3年生）は「台湾の生徒は日本の漫画やアニメが好きで、ニメがすごく好きでした」と昨年から交流を振り返り、その生徒たちと対面で交流できたことが嬉しかったと語ってくれました。稲木さんは5月9日のセミナーで中国語を振る、

抄をし、「翻訳サイトで日本語から中国語にして仮名を振り、音声聞いて発音練習しました。意味が分かったと言われた嬉しかったです」と語りました。